

**ウィーンからの贈り物事業が始動!**

●富田さんが来日されて!

今年も「音楽の都ウィーンからの贈り物」事業がスタートしました。一昨日、ウィーンから来日された富田千種さんと打ち合わせることができ、6月まで富田さんが滞在されている期間中に出張講座を開催することや、秋に予定しているコンサートに向けた準備が始まるなど慌ただしくなってきました。





セバスティアン・フューリンガー  
ウィーンフィルハーモニー管弦楽団団員



富田千種  
元ウィーン国立歌劇場専属歌手



ポール田中七子  
ウィーン国立音楽大学講師

~音楽の都ウィーンからの贈り物~  
世界の名曲集と日本の歌

2016  
**10.15** (土)  
14時開演 [13時半開場]

**正風館大ホール** 東武野田線南越前駅徒歩3分

小中高生 入場無料 一般 2000円

プログラム	
シュベルト	アルペジオーネソナタ
リスト	シュベルトのセレナーデ
マスネ	タイスの瞑想曲
モーツァルト	トルコ行進曲
ブラームス	ヴァイオリンソナタ
ロッシーニ	セビリアの囃子舞より 夜は町の何でも星
日本の歌	東城の月、浜辺の歌 平城山 他

主催：音楽の都ウィーンからの贈り物実行委員会 実行委員長：三輪昭彦  
申込先【事務局】香田寛美 / Tel. 090 2427 5056, E-mail / h-koda1954@jcom.zaq.ne.jp  
共催：春日部地区浦高会 / 後援：春日部市教育委員会

◇Sebastian Fuehlinger(セバスティアン・フューリンガー)：1984年ウィーン生まれ。ウィーン国立音大卒業。ヴァイオリンをヨーゼフ・ヘル、ヴィオラをオクセンホーファー(両氏ともウィーンフィルに所属)各氏に師事。2012年よりウィーンフィルハーモニー管弦楽団に入団。ウィーンフィルの若き団員としてマゼール、ムーティ、ハノンクール等、数多くの世界的名指揮者と共演。

室内楽の活動も精力的に行っており、数々の著名な音楽祭に招かれ、ウィーン楽友教会にも出演し若きヴィオラニストとして将来を嘱望されている。共演者のポール七子氏とは彼がヴァイオリンを始めたころより20年来のコンビである。

◇ポール田中七子氏：桐朋学園大学卒業。井口基成(ピアノ)、斉藤英雄(室内楽)各氏に師事。その後ウィーンに渡り、ウィーン国立音楽大学に入学。同音楽大学ピアノ演奏学科を最優秀賞にて卒業。1979年から1985年間でサントペルテン市立音楽学校講師。その後、1986年からは母校のウィーン国立音楽大学に講師として抜擢され、現在に至っている。日本では、主要オーケストラ(読売シンフォニー、名古屋シンフォニー、札幌シンフォニー)との共演、サントリーホール、東京文化会館などでのリサイタル、CD制作、NHK TV・ラジオ出演など、活躍中である。また、ヨーロッパ各地(オーストリア、イタリア、ドイツ、イギリス、フランス、フィンランド、エストニア、旧ソ連、スペイン、ルーマニア、トルコ)にてソロリサイタルを展開。主要都市音楽祭(ウィーン芸術週間、フィンランド・サボリナ音楽祭、草津音楽祭など)にも度々招かれている。2000年から2001年にかけては、ウィーンフィルハーモニー第一コンサートマスター、ライナー・キュッヒル氏とのコンサートが日本各地で行われ、キュッヒル氏とのCDが東芝(EMI)よりリリースされ、好評を博している。最近ではウィーン国立音楽大学にて後進の指導に当たるほか、ほぼ毎年、ウィーンフィル、ベルリンフィルの主要メンバー達と室内楽コンサートを日本を中心に行っている。

\* \*

春日部地区浦高会創立15周年記念事業としてスタートしたこの事業も、2014年10月18日に丘の上記念会堂で開催した「チャペル・コンサート～歌声の集い～」、2015年6月13日に春日部高校センターアルホールで開催した「音楽の都ウィーンからの贈り物～世界の名曲集とオペラ～」、そして今年と…、大勢の方々に楽しんでいただきたいと思いますね!

10月15日(土)のコンサートのチラシ【写真上】も完成し、今月29日(日)に開催される春日部交響楽団の定期演奏会の来場者に配布させていただける見込みもできました。当面はPRと協賛企業の募集です。

今年の目玉は、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団団員のヴィオラ奏者・セバスチャン・フューリンガー氏、ウィーン国立音楽大学で日本人初のピアノ指導者となったポール田中七子さんをお招きできたことです。春日部市にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏者を招いた演奏会を行うことが一つの目標でしたので、この事業を企画して3年目で実現することができました。2年後には弦楽四重奏ができれば…などと大きな夢を持っています。